

第2回安曇野市水道事業運営審議会 会議概要

- 1 審議会名.....平成24年度 第2回水道事業運営審議会
- 2 日 時.....平成24年9月5日 午前10時から午前11時51分まで
- 3 会 場.....安曇野市豊科総合支所コミュニティ消防センター
- 4 出席者.....矢ヶ崎会長、務基副会長、等々力委員、藤原委員、磯野委員、
松村委員、市川委員、加々美委員
- 5 市側出席者.....中野部長、井口課長、古幡課長、奥村係長
- 6 公開・非公開の別.....公 開.....
- 7 傍聴人.....0人.....記者.....0人.....
- 8 会議概要作成年月日.....平成24年9月12日

協 議 事 項 等

(開会) 午前10時

- ・開会 (井口課長)
- ・あいさつ (中野部長)
- ・あいさつ (矢ヶ崎会長)

議事① 平成23年度水道事業会計決算について
(議事①資料に基づき事務局で説明)

委 員

年間有収水量率が、低い数値となっているが事業ごとの詳細や対策はどのようになっているのか。

事務局

事業毎の年間有収水量率は豊科事業が93.93%、穂高事業が72.45%、三郷事業が77.32%、堀金事業が75.13%、明科事業が54.16%となっている。

また年間有収水量率の低い明科については、管の老朽化により漏水が多い状態となっているので、平成26年度頃から老朽管の布設替えを計画的に実施する。明科川東配水池も老朽化となっているので、併せて布設替え工事を実施して有収率を高める。また穂高地域も有収率が低く、下水道工事に併せて老朽管の布設替えを実施し、下水道工事に関係のない部分については、計画的に老朽管の布設替えを実施する。

委 員

有収率が低いということは周辺に対する影響が大きいと考えるので、早い時期に具体的な計画を立てて工事をするべきではないか。

事務局

老朽管の布設替え工事は安曇野市全体で実施すると概算で50億円くらいかかる。

今後は合併特例債を使って施設に財源として充て、また配管等の布設替えは単独事業費で進める計画である。

会 長

漏水の箇所の特定はできているのか。

事務局

主には本管からの漏水。また山間部などの送水管で漏水の箇所の特정이できていない箇所もある。

委員

決算報告なので、計画があつて実績はこのようになったという報告がほしい。また計画と実績が相違する場合には、このような理由があつて結果として相違が生じたというような説明がほしい。損益計算書や貸借対照表のようなイメージで、今年度の計画があつて実績はこうなりましたと、増減の理由はこうですという説明でよい。また安曇野市水道事業の認可はいつ取得するのか。

事務局

平成24年9月末には豊科事業と三郷事業を統合した、安曇野市水道事業の認可取得となる。この事業認可取得によって三郷地域の水道水源転換工事に着手が可能となる。平成26年度には小倉地域へ水道水を送水し、平成27年度には全体工事が完了する計画。このあと平成27年度に市全体の事業認可取得事務を始めて、平成28年度に安曇野市全体の水道事業認可取得をする計画。一度に、安曇野市全体の水道事業認可を取得できればよいが、三郷は黒沢川から取水しているため、認可を取得するには国の認可となるが、水利権の無いところで認可を取得するということは無理がある。とりあえず、県の認可で許可の取得できる豊科事業と三郷事業を統合して、三郷の水道水源転換工事を完了してから全市統一の事業認可を取得する計画である。

会長挨拶の後、閉会。

会議終了 午前11時51分